

(例示 5) 産経セ受付番号 ()

経営革新等事業計画書

(企業名 : 株式会社)

経営革新等の目標	
目標 1 (課題名)	物流全般に対する業務の見直しと、それに付随するコンピュータシステムを再構築し、経営改善を図り顧客へのサービス品質を向上する。
目標 2 (効果)	効果的な倉庫運営システムの導入 上流工程（受注等）と下流工程（配送手配、発注）との連携 マルチメディア等視覚的な動作確認ができる作業シュミレーションの実現
目標 3 (目標 2 の 具体的数値 目標)	作業効率（手待ち時間等）の 10%改善 欠品率 5%改善 受注時間 2時間/日増長
達成時期	(目途) 平成 17 年 10 月 (平成 17 年度内の時期を記入のこと)
経営革新等の具体的内容及び既存事業との関係	
<ul style="list-style-type: none">既に、社内の改革プロジェクトを立ち上げ、おのものが効果を上げているように思われるが、物流そのものが、ブラックボックスになっており、業務分析および、作業効率をあげることが、当社の顧客との長期にわたる信頼関係を構築する上で大変重要な課題であると認識するにいたった。また、物流をハードからとらえた場合、その影響範囲も大きく、経営資源的も相当の投資が必要となってくるものと思われる。そのため、的確な経営判断の意志決定のため、視覚的な物流シュミレーションが必要であると認識するにいたった。	
支援を求める内容	
<ul style="list-style-type: none">上流工程 / 下流工程と業務やシステムを考慮した上でのパッケージ選定新物流業務の視覚的シミュレーションの実現	
専門家の派遣場所	
(〒 -) 岐阜県 市 × × 町 番地	